

<その他、取組に特徴のある事例>

○集落ぐるみの耕作放棄地の復旧とその活用

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	秋田県大館市 花岡			
協定面積 13.6ha	田 (100%) 水稻	畑	草地	採草放牧地
交付金額 109万円	個人配分 共同取組活動 (100%)			
	・役員報酬 ・道水路管理費 ・農地管理費			
協定参加者	農業者 14人、非農業者 15人			開始：平成17年度
人・農地プランの作成状況	集落全域で作成済			

2. 取組に至る経緯

集落内の高齢化が進み、農地の保全管理が立ちゆかなくなり、耕作放棄地が発生してきた。そのため、耕作放棄地を解消するとともに発生を防止し、将来にわたって持続的な農業生産活動等を可能とすることで、集落内の多面的機能を確保するため、関係者が一致協力し、耕作放棄地の復旧等に取り組むこととした。

3. 取組の内容

協定参加者にソバ栽培を推進している集落営農組合の構成員がおり、すでにソバ栽培を行っている農用地が集落協定内にあったため、耕作放棄地についても交付金を活用して復旧し、ソバを作付けした。

交付金は全て共同取組活動に活用し、水路・農道の泥上げ、除草等の管理、農道への砂利敷等の補修・改良を行っている。



【協定農用地風景】



【耕作放棄地復旧状況】

[集落の将来像]

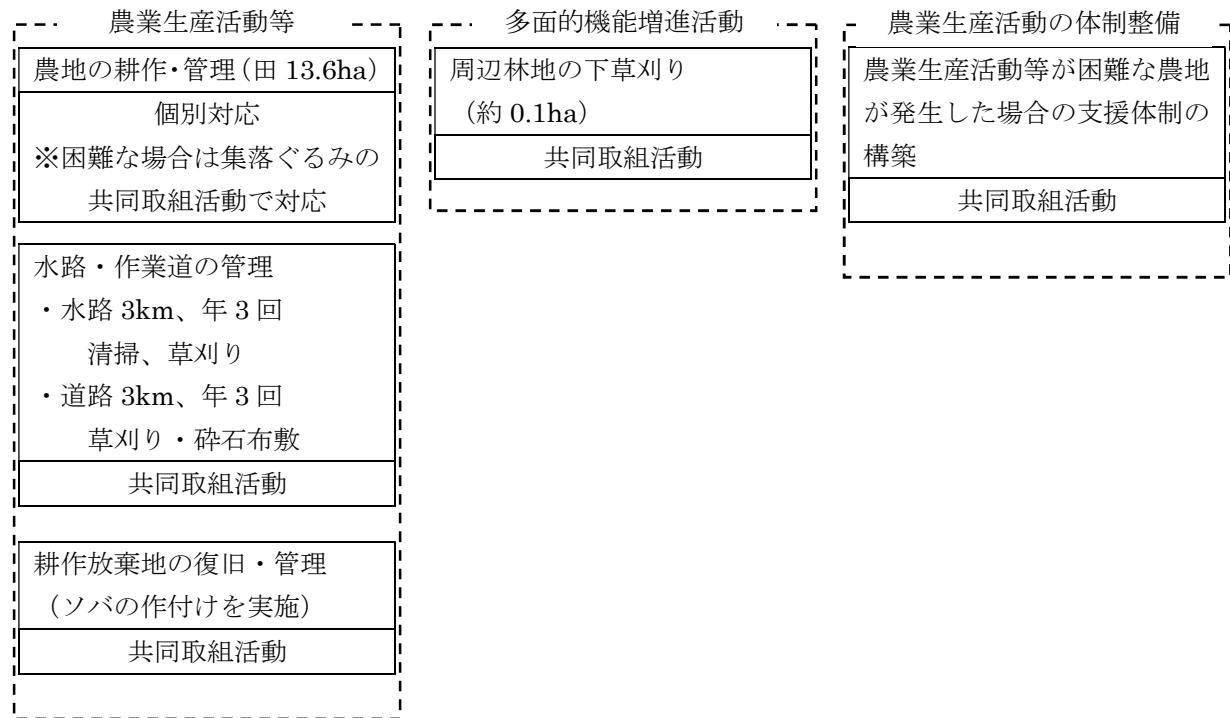
- 地域の実情に即した持続的な農業生産活動等の体制整備

共同活動や作業を分業することにより、集落の結束を高めつつ作業負担を軽減させ、持続的な農業生産活動等を推進することで耕作放棄地防止に努め多面的機能の維持を図っていく。



[将来像を実現するための活動目標]

- 農業の継続が困難となった農地が生じた場合に備えサポート体制を維持する。



4. 今後の課題等

取組による効果として、耕作放棄地が復旧され、ソバの栽培がおこなわれるようになった。これにより、集落協定内における耕作放棄地が減少し、病害虫の防除に役立っているほか、農地の多面的機能への意識が高まっている。

今後の課題は、協定参加者の高齢化が著しいため、持続的農業生産活動の維持に向けた若手の育成が必要。

[第2期対策の主な成果]

農業者及び非農業者が一体となった集落ぐるみの協定の締結により、集落全体での共同取組活動を実施し、農村景観の維持や農業者の耕作意識の高揚につながっている。

また、協定内の水路等は素掘りであるが、同制度の活用により部分的にフリュームによる改良を行うことができ、生産活動への支障が解消されている。